

## 子どもと暮らしに寄り添う身近な相談相手として

2016年10月 〒781-1105 土佐市蓮池 337-15 ☎852-4551 090-4333-9761 大森陽子発行

### 私のこのごろ

最近、相談にお見えになる方がずいぶん増えました。寄り添い、努力しますが、解決出来ないこともいっぱいです。暮らしが破壊されていると、身を持って感じるこのごろです。

### 野党共闘、新潟知事選の成果

憲法違反の安保法案のみならず、ついに「戦争をしない」と決めた憲法まで変えると言い出しました。一昔前の自民党とは、ずいぶん変わったと思います。アベさんのお友達議員の劣化は目を覆うばかりで、忠告してくれる人すらおらず、やりたい放題で危険です。

### 甘利さん

どうしてお金をくれたと思うの？

口利きをしていないと言っても、公設秘書が12回もURに会い、「色を付けてほしい」「(甘利)事務所の顔を立てて」と、相談者まで同席させて言ったのですから、常識的に口利きですよ。しかも、甘利さん自身も、お金をいただいているのですから。証言者は、「口利きしてくれないのなら、そもそも現金を渡さない」と。当然です。

### TPP反対の石原氏が

TPP担当大臣とは???

辞任した甘利氏の後任に、アベ総理が起用したのはお友達の石原伸晃氏。彼はTPPに反対していたはずでしたが。最後は「大臣のいす」でしょうか。環境相時代の26年に、原発事故に伴う中間貯蔵施設の建設をめぐる



「最後は金目でしょ」と言った人です。

### 国民の心とこころを温めてこそ

アベさんのお友達は、人々の暮らしに目が向いているでしょうか。そうは思えません。フランスの若き経済学者トマ・ピケティ氏は、「大企業がもうかれれば、庶民も豊かになる」としてきた「トリクルダウン」は、過去にもなく、未来に起きる可能性もないと発言し、アベノミクスを痛烈に批判しています。

### 選挙に行こう!! 野党は共闘を!!

暮らしを守るために、戦争をする国造りを許さないために、あなたも一緒に声をあげましょう!

戦争法に反対する人を  
国会に送りましょう

## 9月議会報告

### 国保税値上げするには無理がある

国保は、所得割のない世帯4割を含めて、低所得のため軽減措置を受けている世帯が3分の2を占めている。一方、軽減の無い世帯は3分の1で、課税所得がある世帯は実に6割しかない。この6割の世帯が、所得割額を負担しなくてはならない。無職の方が多く、社会保険にも加入できない労働者や、疲弊するばかりの農家や自営業者などが加入する国保は、課税する所得がきわめて少なく、所得割率を幾ら高くしても国保税収は上がらない。国庫助成の増額が無いと国保は成り立たない。

### 板原市長の答え

国保は被保険者の所得が低いことや、年齢層が高いこと、これに伴う医療費の高負担など、構造的に被保険者の負担が大きくなるを得ない状況がある。昨年度は高額調剤(薬)、心疾患等の高度医療の増加により医療費の増加もあり、この傾向は今後も続く。地方自治体で対応できる限界を感じる不安要素もあり、全国的な課題だ。市長会等を通じ、国に対応を強く要望していく。

### 税金徴収はルールに沿って

大阪社保協は、行き過ぎた徴税で市民生活が破壊されないことがないよう、法律を守って徴税をすよう求めている。結果、26年度の処分率は、4.3%。徳島県は2.9%、愛媛県では4.7%、香川県では4.5%だ。これに対し土佐市は44.9%。ルールに沿った滞納整理ができているのか、検証を求める。

### 伊藤税務課参事の答え

滞納整理において、納付催告の送付及び預貯金、収入状況、生命保険、動産等の調査・把握に努め納付相談を行っている。事情により一括納付が困難であれば、生活状況などを聞き取り、支払能力に応じた納付計画協議を行い、分割納付を実施している。しかし、納付約束をしたのに連絡もなく納付しない、催告にも応じない場合は、調査に基づいた滞納処分を実施し、預貯金の差押えを慎重に検討した上でやっている。

### 介護保険適応除外施設入所者に親切なお知らせを

障害者自立支援施設等の介護保険適用除外施設に入所し、かつ一定の要件を満たす方は、介護保険料を納める必要がない。長寿政策課など、各課の連携で制度のお知らせを求める。また、施設に協力を求め、入退所連絡票の提出をもって、手続きをお願いしたい。



### 岡林長寿政策課長の答え

施設入所者への周知及び施設への届出協力をお願い等、関係所管である福祉事務所、市民課と協力しながら実施する。(施設の入退所連絡票の提出をもって、対応する)

### 保育士など、臨時職員の処遇改善の取り組み状況を聞く

#### 中内一臣総務課長の答え

8月に県内全市町村にアンケートを実施し、現在とりまとめの段階だ。アンケートの結果を参考に、処遇改善の研究を続けていく。

### 子育て応援を市の最重要課題に(3月議会)

①医療費助成を高校生まで広げること ②出産祝い金の支給を③「子育て応援宣言」を岡山県奈義町では思い切った子育て支援策を講じ、現在、3人以上子供のいる多子世帯は、50%だ。医療費無料化を高校卒業までに広げるには、今年度の予算があれば充分だ。

### 板原市長の答え

多面的な子育て支援の一つとして検討する。

### 就学援助の改善を(3月議会)

①お知らせに所得基準の正確な記載を ②文言への配慮を ③入学時は支給を早く

### 国見学校教育課長の答え

正確な所得基準は申請をするときの判断に必要なので、記載する方向で対応する。お知らせの配慮は、表現が少し違うだけで、受け取る側の印象も変わり、利用しやすくなると思われるので、見直す。(正確な所得基準を明記した親切なお知らせは、入学時に再配布された。)

### 武森教育長の答え

学用品費等の入学前の支給は、土佐市の子育て支援策の協議の中で検討する

### 手話言語条例の制定を(6月議会)